


米沢市SDGs 未来都市計画（案）に対する委員意見等への回答について

米沢市 SDGs 未来都市計画（案）及び米沢市 SDGs 推進全般に係る各委員から御意見等に対して、以下のように市の考えを回答します。

番号	委員名	意見の内容	回答
1		<p>プラットフォームを使って、わかりやすく普及啓発を行うため、動画作成を提案します。また動画制作を学校での SDGs 教育の中で行う事を提案します。</p> <p>【メリット】</p> <p>①探求学習の時間等に、子どもたちが動画を制作する事で SDGs への理解が深まる。</p> <p>②プラットフォームで動画配信ができる。</p> <p>③PC での制作により GIGA スクール構想を活かす事ができる。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの動画制作を指導し、動画を放送 ・普及啓発講演会の撮影と放送 ・FM ラジオでの啓発 <p>※参考資料 参照</p>	<p>御提案の内容について、関係者と協議していきます。</p>
2		<p>地域のインフラ整備をはじめ、オープンデータ利活用など、ICT 利活用の分野でも、活動を行っていききたい。</p>	<p>市でも関係団体と連携しながら、できる取組を進めていきたいと考えています。</p>
3		<p>本市ブランド戦略は、鷹山公も重きを置いた人材育成により企業や団体がそれぞれの立場で「挑戦と創造」をしながら品質向上を行うことで米沢全体の価値も上げていくことを目的とし、そのプレーヤーを「Team Next Yonezawa (TNY)」として登録も行う取組である。TNY のメンバーは産業界だけでなく、教育、福祉の分野など多岐に渡り、メンバーそれぞれの目指すサービスや取組</p>	<p>御指摘のとおり TNY に御登録されている団体等の皆様の活動の多くは、SDGs に繋がるものであると認識しています。ついては、TNY に御登録いただいている皆様には、簡易な確認書を御提出いただくことで、プラットフォームにも御登録いただく仕組みを検討しています。</p> <p>TNY と SDGs の差異を明確化し、市内外に説明すべきとの御意見については、それぞれの役割についてそれぞれの HP など説明してく</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>は、既に SDGs ゴール、ターゲット 8 番以外の SDGs ターゲットの要素を含んでいるものも多い。</p> <p>案ではブランド戦略と同様なプラットフォームを再び作り、そこで登録団体を募ることを想定されているが、ブランド戦略と重複する部分についてどうお考えなのでしょうか。実務的な部分でどのような連携がなされるのでしょうか。窓口は一本化しつつ、内部で調整されるなどの工夫が必要と思う。また、登録を行うことで米沢市がターゲットとする外部の層にも、登録を検討する市民にもその違いを明確に説明しながら、両者の登録を進めていく必要があると考える。</p> <p>またプラットフォームには個別の目標設定及び達成のチェック・サポートがなされる機能を期待する。</p>	<p>ことを検討していきます。</p> <p>個別の目標設定及び達成のチェック・サポートがなされる機能については、登録の際にどの目標に寄与する活動を実施していただくのかを宣言していただき、1年ごとにその宣言に対してどのような寄与ができたのかを登録者に振り返っていただくことで、達成のチェック及びサポートとしたいと考えています。</p>
4		<p>米沢版 SDGs プラットフォームについて、SDGs のツールとしての有用性を示すためにも必要な取組だと考えておりますが、どのように運営していくか具体性が計画段階で必要だと感じております(米沢市の現状を踏まえた上でのバックキャストの考え方をを用いた業種の枠を超えての協働による新規事業の立ち上げの支援、機会の提供等)。私個人といたしましては、富士フィルム BI 山形様(旧山形ゼロックス様)と SDGs をキーワードに新規事業の計画を考えておりますが、その際に、自社だけでは解決できない問題が多く他業種の会社様との協働が必要不可欠であると日々感じているところであります。米沢版 SDGs プラットフォームが、SDGs の考えのもとで様々な企業様の新たな仕事創造の一助になることを期待しております。</p>	<p>参画団体・個人の皆様が協働するきっかけを提供することは、プラットフォームが果たすべき役割の一つと認識しています。</p> <p>例えば環境分野では、地域循環共生圏に選定されたことを受け、本市環境生活課が中心となり、環境分野の方々との連携の場を設けることを検討しています。</p> <p>この他の分野においても、多くの皆様が協働できる仕掛けについて制度設計を行っていきたいと考えています。</p>
5		<p>米沢市の SDGs 推進活動の普及・啓発についての情報提供でございますが、山交観光様が、今年度(10月頃から?)に SDGs のラッピングバスを県内で運行開始するとのことで、米沢市内の企業・団体にも広告掲載をお願いしたいと考えているそうです。米</p>	<p>市民の皆様に対する SDGs 推進活動の普及・啓発については、目標達成のための重要な要素であると考えます。したがって、御提案いただいたラッピングバスについても、有効な広報手段の一つとして検討していきます。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>沢で SDGs を発信していく先駆けとして米沢市としてラッピングバスに広告を出すことによって、この度の SDGs 推進協議会の活動の普及の一環になるかと思いましたので、情報提供させていただきます。（下記にラッピングバスのイメージ画像を添付いたします。</p> 	
6		<p>5P 2行 「SDGsを先駆けた米沢藩・上杉家ゆかりの歴史遺産と教育資産」 ア 上杉の城下町の歴史と食・自然を活かしたアクティビティ ほとんどが、自然、温泉、食の記述で、上杉家ゆかりの歴史遺産についての記述は、2行あるのみで見出しとの整合性に欠けると思われます。 また、「アクティビティ」に結びつける表現も必要かと</p>	<p>歴史については、「歴史背景」で述べていることから、二行にまとめたものです。また、「アクティビティ」については、代表的な登山及びスキーについての記述をすることで表現したものです。</p>
7		<p>5P 18行 イ 人口8万人のまちに3つの高等教育機関が立地する学園都市・米沢 人口8万人で3つの高等教育機関があることをどう評価していいのかわからない方向けにもう少しコメントを加筆してはどうでしょうか。（くどい表現にならない程度に。）</p>	<p>本市において3つの高等教育機関が立地することの評価として、全国平均（人口比）の大学、短期大学の立地数について追記します。 人口10万人あたりの立地数：全国平均 約0.9 ※以下の数値より試算（数値はいずれも令和2年5月1日現在） 大学、短期大学数：1,118校 文部科学省「令和2年度学校基本調査」 推計人口：1億2,590万人 総務省統計局「人口推計」</p>
8		<p>5P 下から3行 進学しても戻ってきたいと思えるような魅力あ</p>	<p>御指摘のとおり変更します。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>る地域づくり</p> <p>「ような」はあいまいです。「思ってもらえる」、「思える」などと能動的に記述してほしい。</p> <p>P6の4行目の「思ってもらえるような」も同様。(9P【参考】米沢ブランド戦略についての説明も同じですが。)</p>	<p>ただし、9Pの「米沢ブランド戦略について」の記述は他計画からの抜粋であるためそのままとします。</p>
9		<p>6P 6行 誰もが安心して暮らすことができる「健康長寿日本一のまち」の実現</p> <p>今後取り組む課題3つのうちのひとつとして記述しているものだが、他の2つの記述は、課題を挙げ、それらに対する（漠然とながら）取組の必要性を記述している。この項目だけ、他との記述と異なっており、特定健診の受診率が大きな課題として最後に挙げることで、他の取組の必要性がぼやけてしまうので、文中に溶け込ませた方が良くないのでしょうか。</p>	<p>6P 6行 誰もが安心して暮らすことができる「健康長寿日本一のまち」の実現の文末部を「その向上が大きな課題となっている。」から「その向上が必要である。」に変更します。</p>
10		<p>7P 7行 ① 鷹山公のつくりあげた「ものづくり」産業が市内経済をけん引するまち</p> <p>「鷹山公がつくりあげた「ものづくり」産業」とは何を指すのでしょうか。下段【参考】を読めば、モノづくりのマインドを根付かせた、とは言えるかと思いますが、つくりあげた産業が経済をけん引するとの表現はピンとこないのです。</p>	<p>7P 7行 「① 鷹山公のつくりあげた「ものづくり」産業が市内経済をけん引するまち」を「①鷹山公が根付かせた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち」に変更します。</p>
11		<p>7P 下から7行 「現代の藩政改革」による健康長寿日本一のまち</p> <p>現代の藩政改革とは、聞こえはいいのですが、何を言いたいのか理解しにくい表現です。</p>	<p>鷹山公が行った「藩政改革」は、民衆の暮らしが良くなるようにということが根底に流れていると考えます。「現代の藩政改革」とは、本文中にも記載しているとおり「市民が、身体面における健康だけでなく、それぞれに生きがいを感じ、明るく、元気に健やかに暮らすことができる」取組を展開していくことであるという意で使用しています。</p>
12		<p>7P 下から4行 鷹山公が行った「藩政改革」ともいべき健康長寿に向けた取組</p>	<p>御指摘のとおりの後段の「鷹山公が行った健康長寿に向けた取組」の意で使用しています。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>「鷹山公が行った藩政改革」なのか「鷹山公が行った健康長寿に向けた取組」なのかがわかりにくい文章です。</p> <p>次ページ【参考】を見ると、後段の意味に感じますが、鷹山公の藩政改革は1次も2次も財政再建がメインであり、その成果（過程）として、人材育成、殖産興業、リスク管理があるものと思われます。命を守るための取組を健康長寿ととらえるのはどうでしょうか。無理のある表現に感じます。</p>	<p>よって、該当箇所を「鷹山公が行った「藩政改革」に倣った健康長寿に向けた取組」と変更します。</p> <p>後段の部分はNO. 11 の回答のとおりです。</p>
13		<p>9P～ K P I</p> <p>2030年、2023年、現在が混在する理由を明確にしておく必要があると思います。</p>	<p>2030年のあるべき姿におけるK P I (9P～)は2030年としており、自治体SDGsの推進に資する取組におけるK P I (11P～)は、短期的な取組であるとして2023年としています。</p> <p>計画書におけるK P Iでの「現在」との標記については、「基準」と変更するとともに、自治体SDGsの推進に資する取組について、短期的な取組として2023年でのK P Iを設定している旨を追記します。</p>
14		<p>14P (環境) K P I 数値 2030年</p> <p>K P I 2023年数値が大きい正しい数値でしょうか。</p>	<p>記載の目標値は、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すとした「米沢市ゼロカーボンシティ宣言」前に策定した米沢市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づいた数値であり、今後、見直しを予定しております。見直しにより新たに目標値が設定された際には、本計画においてもK P Iの見直しを行います。</p>
15		<p>12P 下から8 塩分摂取量は全国平均を上回っており（下表を参照）</p> <p>次ページにある下表のタイトルは「食塩摂取量」。塩分と食塩はイコールでいいとは思いますが…。</p>	<p>「塩分摂取量」に変更し統一します。</p>
16		<p>13P 10行 前述のとおり</p> <p>前述とあるが、表への受診率記載だけでは記述はされていないのではないのでしょうか。</p>	<p>「前述のとおり」を削除します。</p>
17		<p>8P 2030年のあるべき姿③環境教育先進都市 及び、</p> <p>14P 自治体SDGs ④ICT活用推進プロジェクトについて</p> <p>米沢市の環境資源、郷土文化を生かした教育目標と、大学と</p>	<p>教育については、米沢市未来都市計画でも核となる要素としています。</p> <p>御提案いただいた内容を踏まえながら、事業の展開を図っていき</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>連携した人材育成・新産業創出の目標を組み合わせ、17の目標の「4. 質の高い教育をみんなに」につなげる事ができるのではないかと思いました。</p> <p>米沢市にしかできない、自然に溢れた”この地球で生きる事”の教育と、子どもたちの興味や関心に合わせた”選択肢のある学びの場”を作る事ができると思います。</p> <p>(特に冬になれば各小学校に雪の山が出来てスキーができる、それだけでも米沢ならではの環境教育だと思います！)</p> <p>そこからどうして雪が多く降るのかなど学べますよね。雪がこんなに降るなら、冬のスポーツの強化練習ができる場所とか作れないのかなと、単純に思っていました。)</p> <p>私は、働く場があるだけでは、若い人や移住者の定住には繋がらないと身をもって感じています。米沢で具体的な未来を描けるかがものすごく重要です。</p> <p>「11. 住み続けられるまちづくり」には、産業の発展もちろん大事ですが、未来を担う子どもたちがのびのびと自然の中で遊びながら、身の回りにある高い技術や学問を学べる事が出来れば、子どもを持つお父さんお母さんにとって、”住み続けたいまち”になると思います。</p> <p>高い学びが米沢市で出来る・やりたい事に挑戦できる場所であるという事を実践・発信する事で、県内外の子どもを持つ両親に響けば、”米沢で子どもを育てたい”と多くの移住者が訪れると思います。</p> <p>私の生まれ育った神奈川県藤沢市は、都心に近い海のある場所として近年多くの若い家族が移住し暮らしています。</p> <p>両親の仕事は都内だけど、子どもは自然のある場所で学び、興味を伸ばしたいという考えが強くある中、藤沢市には県内有数の進学校やSFC(慶應義塾大学湘南キャンパス)、湘南工科大</p>	<p>いと考えていきます。</p> <p>一例として、現在中学生を対象に行っているチャレンジウィークを補完する形で地元企業を知るための動画作成をすることや、本市に上杉鷹山公の時代から伝わる草木塔について知る機会を設けることを検討しています。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>学があり、様々な選択肢の中から自分が何をしたいか選ぶ事が出来ます。</p> <p>また、海という環境資源を使ったイベントや学びの場があり、海から得られる自然の恵みと保全、災害について学びました。企業や市民参加のクリーンキャンペーンなども積極的に行う事で意識を高めています。誇れる産業のない藤沢市ですが、海や歴史、大学、環境を活かした活動をしているなど感じています。</p>	
18		<p>12P 自治体 SDGs②米沢ブランド戦略推進プロジェクトについて</p> <p>登録件数が多くなるだけでは、米沢ものづくりが向上する事や「8.働きがいも経済成長も」の目標に繋がらないと思いました。2019年の立ち上がりから参加し2年がたちますが、米沢品質に登録している実感がありません。具体的な活動内容・目標を知りたいと、アワードにエントリーしていながら思っています。</p>	<p>SDGs プラットフォームについては、毎年登録者にその年の取り組み内容を提出していただくことで、目標に寄与できたかどうかを振り返っていただく仕組みを構築したいと考えています。加えて登録者には、機会を捉えて情報の提供に努めていきたいと考えています。</p> <p>なお、TNY の事務局にも問題提起を行っていきます。</p>
19		<p>私が思う米沢らしく、この地に移住できるなど思った点は山形の入り口であり新幹線の発着駅であること。私が3年間米沢で過ごす事ができたのは関わりある方々の支えもありますが、一番は、2時間で東京へ行き来出来るという事です。仕事がある米沢で普段の生活をし、新しい事を見たり吸収したければいつでも東京へ行けばいい。それくらい東京に近い場所という事。入り口ということも活かした、外への情報発信・活動報告をしていくことも大事だと思います。</p> <p>また、皆さん当たり前になっている食べ物の地産地消。食べ物だけではなく、地域産業も当てはめていきたいと思っています。nitorito がブランドを通して伝えている made in YONEZAWA は県外の方にはもちろんですが、市内の方々に伝える事を一番の</p>	<p>SDGs については、域内外への情報発信が求められているところです。御提案にあるように「外への情報発信・活動報告」についても、未来都市に選定された自治体が参加する「東北 SDGs 未来都市サミット」等の機会を効果的に捉えて情報発信に努めていきます。</p> <p>地域産業を市内の方々、とりわけ子供たちに伝えていく取組は、NO. 17 で回答したように、チャレンジウィーク等を補完する動画制作等で検討していきます。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>目標にしています。”米沢にこんな産業がある”という事を伝えるのはSNSなどで手軽にできます。</p> <p>そこから、じゃあ暮らしの中に米沢のものづくりを取り入れてみよう、と思うかは企業の力と市民の意識だと思っています。</p> <p>自治体SDGs①産業復興プロジェクトに企業誘致や創業促進の目標が描かれていますが、雇用へのつながりや生産拠点の米沢としてだけでなく、米沢市民にとって大切な誇れる産業があるべきだと考えます。</p> <p>上杉鷹山公の奨励により始まった米沢織の文化は、衰退の危機に面しており、技術を持った工場が次々と無くなってしまっています。私たちnitoritoはそれでもなお、米沢織の文化を誇りに思ってもらい、暮らしの中に取り入れてもらえるようなものづくりと発信を行っています。”米沢織”という歴史・称号は、今日に生まれたものではなく、長い歴史の中で培われ、変化しながら引き継がれてきました。そういった歴史ある文化を未来につなげて行くような産業目標も立てていきたいなど、心から思います。</p>	
20		<p>・第1回推進協議会資料2 3推進体制 (4)人材育成、普及・啓発について</p> <p>市民対象のワークショップSDGs講座の定員が40名程度と、消極的な印象がありました。会場には40名参加する他、Zoom等で参加自由にしてはどうでしょうか。対象者は米沢市民だけでなく、米沢市内に勤務する方、米沢が大好きな米沢をよくしたいと思っている方々(県外含む)等、範囲を広げてほしいです。</p>	<p>研修効果を高める上でどのような層に、どのような方法で実施するのかを見定めつつ、Zoomでの参加も一つの方法として検討していきます。</p>
21		<p>未来都市計画(案)を広めるためのPR案</p> <p>・各種イベントや人の集まるような場所(イオン米沢さんの一角など)をお借りして、PRブースを設置する。資料の配布、</p>	<p>・現在は、パブリック・コメントを実施していることもあり、市HPや一部の公共施設に掲出しているところですが、パブリック・コメント終了後も、御提案いただいたケーブルテレビ、SNS等の方法を含め様々</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>クイズ形式やアンケートをとる、未来都市計画の説明をするなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルテレビ NCV さんの番組に SDGs コーナーを設けていただく。(何度も再放送。) ・自治体 SDGs の推進に資する取り組みに 6 つのプロジェクトがあるので、その活動の状況などを発信できたら、視聴者は興味を持てるのではと思います。 ・SNS では、短い動画や写真での説明が効果的だと思います。こちら 6 つのプロジェクトでの活動状況を発信し、いいね件数等反響をみてはどうでしょうか。FB や Instagram ではコメントができるので、見てくださった方の生の声が聞けると思います。 ・未来都市同士の交流から、新しい発想が生まれるかもしれません。県内(飯豊町、鶴岡市)との意見交換、同じようなプロジェクトを持つ未来都市との交流・意見交換をして、アイデアを出し合うのもいいと思います。 	<p>な機会に SDGs 未来都市計画や取組について PR に努めていきます。</p> <p>・今年度はコロナ禍のため中止になりましたが、東北地区の SDGs 未来都市が集うサミット(「東北 SDGs 未来都市サミット」)が毎年開催されると聞いています。そうした場への積極的に参加することで、御指摘のようなアイデアの交換をし、新たな発想を得る機会としたいと考えます。</p>
22		<p>取り組む課題に対するゴールターゲットに K P I 指標を追加しては如何でしょうか</p> <p>5P ②今後取り組む課題</p> <p>『「・人口動態」でも述べたとおり…<u>学生が就職したいと思える「働く場」を確保することが課題である</u>』</p> <p>(経済 G8 8.1 8.2 8.3)</p> <p>これに対し優先的なゴールターゲット(経済 G8)では、K P I 指標を「製造業付加価値額」を設定している。</p> <p>「製造業付加価値額」の増加がもたらす(増加に期待する)具体的な効果为目标を追加してはどうでしょうか。</p>	<p>計画書(案)では、学生が就職したいと思える「働く場」を確保することを課題とし、2030 年のあるべき姿として、地元大学のシーズを活用した新産業を創出し、元気な企業と共に成長するものづくりのまちを目指すこととしています。</p> <p>K P I に関しまして、本市における付加価値額の向上による産業の活性化や新産業の創出は、雇用の拡大及び学生にとっての「働く場」の創出に資するもの捉えています。御指摘のとおり、『学生が就職したいと思える「働く場」を確保する』に直結する指標も必要であると考えます。</p> <p>今後も働く場の確保を目指し、施策に取り組んでいきますがそれぞれの分野で 1 つもしくは 2 つの K P I を設定していることから計画</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>『学生が就職したいと思える「働く場」を確保する』に直結する指標</p> <p>例えば、給与水準（初任給、平均所得など）の増加目標、市内就職率の増加目標など。</p> <p>さらに、それらが個人所得・個人消費など地域経済に与える（寄与する）好影響を目標に加えてはどうでしょうか。</p>	<p>への掲載は見合わせたいと考えています。</p>
23		<p>(社会 G3 3.4 3.8)</p> <p>指標：「市民の健康寿命」に「医療費支出額」を追加してはどうでしょうか。</p> <p>市民一人ひとりが健康で生活することにより、医療費支出額の削減につながります。</p> <p>一人あたりの医療費支出額の減少と、健康寿命の延伸に関連性があると考えます。</p>	<p>御指摘のとおり、一人当たりの医療費と健康度の間には負の相関があるとされています。当計画においては、健康寿命をKPIとしており、健康寿命を延伸することで、医療費の減額も図れるものと考えています。</p> <p>【参考】内閣府「地域の経済2019」</p> <p>『健康寿命と医療費については、健康寿命が1年長い都道府県では、1人当たり医療費が約3万1千円低いという関係がみられる。主観的健康度と医療費については、主観的健康度が0.1ポイント高い都道府県では、1人当たり医療費が約3万7千円低いという関係がみられた。健康度が高い都道府県では、医療費が低い傾向がうかがえる。』</p>
24		<p>(環境 G13 13.2 13.3 15.1 15.2)</p> <p>米沢市は、自動車の世帯所有台数が多い地域です。KPIに「エコカー所有割合」を追加してはいかがでしょうか。</p> <p>エコカーを使用することは、とりもなおさずKPI「温室効果ガス排出量」削減に寄与します。「温室効果ガス排出量」に定める自動車の割合やエコカー所有割合をKPIにすることで、KPIを身近に理解することにつながります。</p>	<p>御意見のとおり、本市を含む山形県は自動車の世帯所有台数が多い地域であることから、多くの方がエコカーを使用することで「温室効果ガス排出量」削減に大きな効果があるものと考えます。</p> <p>しかしながら、関連する法制度の改正等により「エコカー」の定義が変わることや市町村別所有台数の把握が困難なことから、「エコカーの所有割合」をKPIとすることは、なじまないと考えています。</p>
25		<p>「人口動態」の分析における「生産年齢人口減少」(4P)と、「進学しても戻ってきたいと思えるような魅力ある地域づくり」(5P)について、一言申し上げます。</p>	<p>子供たちが将来にわたって住み続けることができる持続可能なまちづくりを行う上で、御意見をいただいた内容は非常に重要だと考えます。</p>

番号	委員名	意見の内容	回答
		<p>前回の推進協議会で、お話に出たことに関係しますが、未来の地域づくりを語る上では、小中学生や高校生といった若い世代がいかに関わり合いに取り組んでいけるかが肝要に思われます。一方、本計画案の中には、それらの鍵を握る世代をどのように参画させるかの具体的な構想がみえてきていないように思われます。</p> <p>これは、「米沢版 SDGs プラットフォーム」(15P～)に託される問題かと思いますが、「市内の企業、大学、金融、団体等、多様な主体」(15P)、「登録団体」、「登録企業」(16P)と見ていても、児童、生徒の姿は表に現れてきていません。子どもたちや青少年が、主体的にはいっていきける取り組みであることこそが、中長期的に見て、街づくりに繋がっていくと考えます。よろしくお願いたします。</p>	<p>御意見の内容を踏まえて、15 ページの「市内の企業、大学、金融、団体等、多様な主体」の部分を変更いたします。</p> <p>また、プラットフォームには小中学校、高校などの学校単位ではもちろんですが、より自分事として捉えていただけるようにクラスやグループ等での登録も受け付けるような仕組みを考えています。</p> <p>また、NO. 1, 17, 19, 27 の御意見も踏まえて、「米沢版 SDGs プラットフォームの創出及び運営」の下から 9 行目に以下の文言を追記します。</p> <p>「また、将来を担う子供たちに SDGs の教育を積極的に進める。」</p>
26		<p>(第 1 回 SDGs 推進協議会で提示した計画書案から、内閣府の指摘等を受けて修正した) 変更内容が小中学生にとってもありがたい内容だと感じました。ありがとうございます。</p>	<p>御意見の内容は「デジタル人財の育成に関する具体的な地域企業等との連携や中学校・高等学校への展開について」の追記かと思いますが、本市では SDGs の取組を通して、子供たちが米沢市に将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
27		<p>「G4 質の高い教育をみんなに」、「G5 ジェンダー平等を実現しよう」が入っておらず残念。学園都市を名乗っているならば必要不可欠ではないか。</p>	<p>「G4 質の高い教育をみんなに」及び「G5 ジェンダー平等を実現しよう」は、令和 3 年 3 月に策定したまちづくり総合計画後期基本計画において各施策と関連づけることで、達成に向けた本市の役割を示しております。</p> <p>SDGs 未来都市計画(案)においても、G4、G5 は、KPI としての設定は行っていないものの、2030 年のあるべき姿を目指す上で取組の中で考慮すべき重要な目標です。今後各取組の推進にあたっては、G4、G5 の視点を踏まえるとともに、各団体の取組についても広く拾い上げ、周知に努めてまいります。</p>